

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部	
	17065	観光協会運営支援事業	課名	地域観光課 地域サービスG	
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の推進		款	07:商工費
	施策の方向	01:持続可能なまちづくり観光の推進		項	01:商工費
戦略プロジェクト	-	目		03:観光費	
事業予定期間	H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市観光協会への補助金交付基準		

目的・概要	対象	一般社団法人亀山市観光協会
	目的	まちづくり観光のコーディネート力、推進力を確保するため、亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図る。
概要		亀山市観光協会への財政的支援を行うとともに、観光協会主催イベントの開催支援やポスター、パンフレットの印刷、ホームページ運営などの情報発信、フィルムコミッションの運営等に対する支援を行う。また、観光協会事務所移転や組織体制等の検討を行い組織の基盤強化を目指す。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	亀山市観光協会への補助金交付  亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営  観光協会事務所移転等の検討	亀山市観光協会への補助金交付  亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営	亀山市観光協会への補助金交付  亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営	
	年度実績	観光協会HPの更新及び細やかな情報更新の支援 事務所移転の検討の中で、まず観光案内機能の強化のため、足湯交流施設での効果的な観光案内について協議を進めた。 フィルムコミッションの運営支援 ○各種イベント支援			
事業の計画・実績	計画額	事業費	18,700千円	18,700千円	18,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	18,700千円	18,700千円	18,700千円	
	予算額	事業費	17,700千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	17,700千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	17,060千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	17,060千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	2,355千円	0千円	0千円	
	一般職員	2,355千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.30			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		19,415千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	フィルムロケ地誘致回数	計画値 2	3	4
			実績値 0		
			単位 回	回	回
	名称	ホームページ閲覧数	計画値 90,000	95,000	100,000
		亀山市観光協会のホームページ閲覧数	実績値 185,127		
			単位 回	回	回
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善行動	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 観光協会の運営基盤の強化については、最適な観光案内のために、訪問客の動線を読み、協会が独自に収益が得られる仕組みづくりを検討する必要がある。引き続き、観光案内、組織運営の在り方を、観光協会の専門部会である活性化委員会、企画委員会、組織検討委員会で検討していく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 観光協会において、協会員による専門部会として組織検討委員会が組織されており、研修会、視察を実施し、観光協会の運営について意見交換会が行われた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 クルーズ船の誘客活動などの取り組みのため企画委員会の活動により、大型クルーズ船のショートツアーの誘致活動を行った。 亀山市フィルムコミッションについては、対外的に発信して知名度向上を図るため、各種情報番組の撮影支援を行ったほか、プロモーションビデオの作製に向けた準備が行われた。 亀山駅前再開発事業に関連して、亀山産業観光案内所を閉鎖したことから、足湯交流施設を活用した観光案内の在り方の検討が行われた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 情報の発信のため、リアルタイムなホームページの更新を積極的に行った結果、アクセス数は堅調に伸びており、関宿への訪問客は増加傾向にある。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 観光協会の運営基盤の強化については、最適な観光案内のために、訪問客の動線を読み、HPなどを通じてきめ細やかな情報発信を行うほか、観光駐車場に隣接する足湯交流施設における効果的な観光案内の充実が必要である。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 引き続き、観光案内、組織運営の在り方を、観光協会の専門部会である活性化委員会、企画委員会、組織検討委員会で検討していく。そのほか、知名度向上のためHPのさらなる充実を図る必要がある。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 新たな訪問客との交流が促進され、特に関宿での観光の魅力が高まる。しかしながら、観光客は天候や経済環境等により、増減するもので、長期的に効果を見ていくべきである。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	生活文化部 地域観光課 観光交流グループリーダー 木田 博人
【最終評価者】	生活文化部 地域観光課長 木田 博人

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		17,700 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	17,700 千円
	令和2年度への繰越額	千円